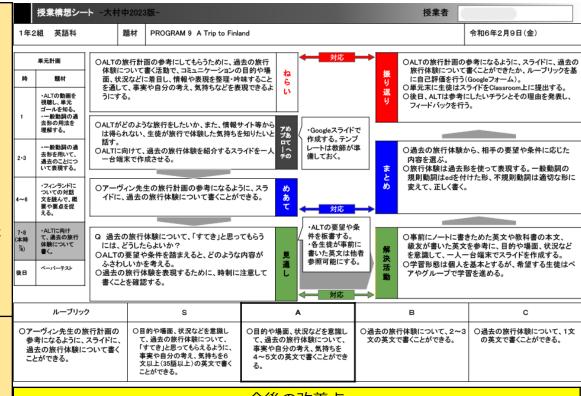
【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

授業構想シートを活用した授業づくり

- ・構想シートは、探究的な学びの流れを基本に、生徒がどのように学ぶかを記述で きるようにした
- ・めあてとまとめが対応しているかなどが 確認できるように構造的に示した
- ・生徒が到達するゴールの姿をより具体的 に示すために、ルーブリックを作成し生 徒と教師が共有するようにした
- ・学びの過程での教師の手だてを吹き出し で記述することで、ICTの活用場面等を示 した
- ・教科部会等で、授業構想シートを活用し て授業検討等を行った
- ・授業構想シートを活用することで、授業 づくりをフレームワーク化でき、共通の 視点をもって授業検討を進めることがで きた
- ・学びの過程に「めあてへのアプローチ」 を位置付けたり、ルーブリックを生徒と 共有したりすることで、生徒が目指す ゴールをとらえ主体的に学ぶことができ た
- ・授業構想シートを用いて授業づくりを行 うことで、教師の授業デザイン観の転換 を進めることができた



今後の改善点

- ・見方・考え方を働かせた見通しのもたせ方を実践を通して具体化していく
- ・探究の過程を重視し「思考力・判断力・表現力」を育てるためには、単元 を構想する必要があることから、単元構想シートを開発する
- ・学びの過程において、生徒のICT活用の具体を蓄積し、それらを基に生徒 自身が選択し活用できるようにする
- ・「授業構想シートの手引き」を改訂し、学校サイト等で公開する